

## 新幹線資料館リニューアルオープンと、新幹線ちよこつと話

問合せ

社会教育課 ☎ (042) 574-4044

### ■新幹線資料館リニューアルオープン

ひかりプラザにある新幹線資料館は令和3年4月1日、リニューアルオープンしました。

下の写真は新幹線資料館外観です(写真1)。ジオラマ(写真2)では新しくN700A新幹線『のぞみ』、923形3000番台『ドクターイエロー』、E233系中央線、E353系『あずさ・かいじ』の車両が、元気に走っています。



※写真1



※写真2



※写真3

### ■新幹線ちよこつと話

ひかりプラザの鉄道展示室に新幹線の先頭車両の形をした木型(写真3)があり、これを「風洞実験モデル」といいます。「風洞」という人工的に空気の流れを起こす装置を使い、この風洞実験モデルに風を当てて、実際の新幹線車両にどのような力がかかるのかを調べました。

ひかりプラザにある風洞実験モデルは、実際に新幹線の開発に使われたとても貴重なものです。

## 学ぶ・つながる～公民館事業・講座紹介～

### 異世代交流事業 子どもと大人の交流・体験広場

異世代交流事業は、地域の子どもと大人が月1回土曜日に交流し、ともに学べる場として実施しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防として未実施の種目もありましたが、「Artの広場」「世界をEnjoy!!」「作って飛ばそう紙ヒコーキ」など8種目に取り組みました。



指導者は地域の人達で、毎月実行委員会を開催しながら一緒に学んでいく関係として、公民館で豊かな体験が生み出される事業になるよう話し合っています。

地域での人との関わりが得られにくいと言われている中、興味や関心のある種目に取り組みながら、地域

の人と関わり、技術や知識が身につくことはもちろん、世代を超えて学びが循環していく事業として、有意義な時間を得ることができる場となっています。

問合せ

公民館課(本多) ☎ (042) 321-0085

### 子ども平和講座「空襲の話と新聞記事から考える戦争」

「戦争を知らない世代に、自分の戦争体験を語ることができる」と地域住民の方のお申し出を受け、3月の東京大空襲の時期に合わせ、子ども向けの平和講座「空襲の話」を企画しました。当時小学生だった方の戦争体験を聞き、NIE(※)コーディネーターに指導を受けて戦争に関する新聞記事をスクラップすることに取り組むことで、平和について考え学ぶ機会を設けたいと考えました。

緊急事態宣言期間中に準備を進めましたが、残念ながら地域住民の方から「戦争体験を聞く」部分は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行うことができず、「新聞スクラップを通して考える戦争」を2時間で行う形に変更しました。



講座では国分寺の空襲の状況や東京大空襲についての話の後、新聞スクラップに取り組みました。参加者の大半が新聞スクラップ初心者であったにもかかわらず、非常に熱心に新聞を読み、記事を真剣に選び出していました。

参加者からは「戦争が終わった後も、戦争は人をきずつけたことがわかった」「戦争は遠くのことでなく家族や自分の命にもかかわることがあると知った」などの感想を聞くことができました。平和や命の尊さについて深く考える機会になったようです。今回実施できなかった、地域住民の方を招き「戦争体験を聞く」については、引き続き実施に向けて検討していきたいと思えます。

※NIE(エヌ・アイ・イー):教育に新聞を活用する学習活動

問合せ

公民館課(恋ヶ窪) ☎ (042) 324-1926

## 国分寺市の文化財～新たに指定しました～

### 本多八幡神社の神輿

○市重要有形民俗文化財 ○所在地:本多四丁目



令和3年3月25日に本多八幡神社の神輿が市重要有形民俗文化財になりました。本多八幡神社は、江戸時代の新田開発によって成立した本多新田の鎮守として、元文元年(1736)に創建されました。

秋には最も大きな祭りである例大祭、秋祭りが開かれ、この神輿が本多地域一帯を中心に太鼓とともに巡行します。本神輿は、小野神社(多摩市)の神輿として文政3年(1820)に建造されたことが小野神社の宮司家に伝わる近世文書から読み取られ、また、当時は大國魂神社(府中市)の大祭において、祭儀には用いられなかったものの、小野神社から旅宿までの渡御が許されていたことがわかっています。明治32年(1899)には修理が行われ、昭和10年(1935)に小野神社は新規神輿を製作したため、翌11年(1936)に本神輿は現所有者の本多八幡神社へ譲渡されました。その後、本多八幡神社の秋季祭礼における神輿として地区内を渡御するようになりました。本多八幡神社においても、昭和51年(1976)に大修理が行われ、現在に至っています。

以上のように、本多八幡神社の神輿は二度の修理で旧状が把握できないものの、記録と伝承による使用年数は200年となり、歴史あるものといえます。また、それが現役の神輿として今日まで使用されていることから、市内における民俗資料として価値が高いことから指定に至りました。

問合せ

ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

## 教育委員会の動き



令和3年2月から5月までの間に、定例会を4回、臨時会を2回開催しました。定例会や臨時会の議事録は、随時、市のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。(上記のQRコードからアクセスできます。)

### 議案を1件ご紹介します

<国分寺市重要文化財の指定について>

国分寺市にある「本多八幡神社神輿」が国分寺市重要文化財に指定されました



### その他の主な議案は以下のとおりです

- ・令和3年度国分寺市一般会計補正予算案について
- ・令和4年度使用教科用図書の採択要項の制定について

<教育委員会定例会の開催日程(予定)(6月1日現在)>

①6月24日(木)、②7月20日(火)、③8月12日(木)、④9月30日(木)

①②③は午前9時30分～④は午前10時～ 会場:ひかりプラザ2階203・204号室

※日程・会場は変更になる場合があります。最新の情報は市のホームページでご確認ください。(右のQRコードからアクセスできます。)

※上記日程以外に、必要に応じて臨時会を開催することがあります。



※定例会の傍聴を希望される方は、当日直接会場までお越しください。申込みは不要です。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。最新の情報は市のホームページでご確認ください。

問合せ

教育総務課 ☎ (042) 574-4040